Makita

取扱説明書

木工用集じん機

モデル 410

電源コンセント

本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは木工用集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手に大切に保管してください。

目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 木工用集じん機安全上のご注意	9
・ 各部の名称および標準付属品	11
・ 別販売品のご紹介	12
・ 使い方	16
・ 1. 集じん作業	16
・ ホースの取り付け	16
・ ダストバッグの取り付け	16
・ スイッチの操作	17
・ オーバーカレントリレー（過負荷防止器）	17
・ 使用方法	18
・ 切りくずの捨て方	18
・ 2. 搬送作業	19
・ 3. ブロワ作業	20
・ 4. 木材加工用機械から排出される切りくずの集じん、搬送作業。	20
・ 保守・点検について	21
・ ご修理の際は	21

主要機能

主要機能	モデル	410
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相 100 V
電流		11 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		1,050 W
最大風量		8.7 m ³ /分 (ホースとダストバッグを取り付けた状態)
最大真空度		510 mm 水柱
集じん量		200 L
機体寸法		幅 287 mm × 奥行き 285 mm × 高さ 280 mm
重量		9.3 kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は 警告 と 注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

3. 作業場の周囲環境も考慮してください。

- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

4. 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

5. 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないようにください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7. 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⚠ 警告

9. きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

10. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

12. 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

13. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

⚠ 警告

14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスが付かないようにしてください。

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、といし、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

16. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

17. 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

19. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

⚠ 警告

20. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。

- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所で修理を行ってください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

22. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

木工用集じん機安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、木工用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

- ・ 故障や漏電のときに感電の恐れがあります。
- ・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- ・ アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。

テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアースクリップと機械本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。

- ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- ・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に接続されますことをおすすめます。

漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

労働安全衛生規則

第 333 条・第 334 条

電気設備の技術基準

第 18 条・第 28 条・第 41 条

2. アース線をガス管に接続しないでください。

- ・ 爆発の恐れがあります。

3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた 3 芯コードを使用してください。

- ・ アース線のない 2 芯コードですと、感電の原因になります。

4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

5. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。

- ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

6. 灯油・ガソリン・火のついた煙草の吸いがらなどを吸わせないでください。

- ・ 火災の原因となります。

7. 人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質は吸わせないでください。

8. 排気口をふさがないでください。

- ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。

9. ホースの着脱は、ファンの回転が完全に停止してから行ってください。

- ・ 回転中に行いますと、けがの原因になります。

電源コンセント

⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態では、けがの原因になります。
2. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。

注

- ・ 電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25 mm ²	10 m
2.00 mm ²	20 m

各部の名称および標準付属品

標準付属品

- ・ ホースコンプリート 2.5 m
- ・ ダストバッグ

別販売品のご紹介

- ・ 当社のカンナ・卓上マルノコ・バンドソーなどの強制吸じんにご利用いただくために、下記の各種ジョイント・ノズル・ホースを用意しております。

適用モデル () 内は旧モデル です。	ジョイント名	—		
1900B	ノズル 55-1 + ジョイント 55 アッセンブリ	集じん機 (406) (432) (433) のホース 部品番号： 192375-2 (2.5 m)	ジョイント 45	木工用 集じん機 (410)
(1004・1804) 1804A・1805)	ノズル 70-1 アッセンブリ			
1805C・1805N	ノズル 70-2 アッセンブリ			
1804C・1804K 1804N	ノズル 70-3 アッセンブリ			
1805B	ノズル 70-4 アッセンブリ			
1824-A	ノズル 70-5 アッセンブリ			
1806B	ノズル 70-6 アッセンブリ			
LS1510 (2400B・LS1400) (2404B・LS1420) LS1500)	ジョイント 40 アッセンブリ	192376-0 (5 m)		
LS0800・LS0810 (LS1000)・LS1500 2114C	※ジョイント・ノズルは使用 せず、集じん機のホースを 直接、本製品に接続します。			

〔接続例〕

- ・ ジョイント 45

別販売品のご紹介

※ジョイント 45 の使用方法について

注

- ・ホースを長くして使用する場合は、406 などのホース（口径 38 mm 口元テーパ式）は 1 本（2.5 m）にとどめて、410 のホース（口径 75 mm）を長くしてお使いください。

使用できるホースの長さ

- ① 136 mm 以下の電気カンナ（例：1900B）の場合は、410 のホースを 20 m 以下でお使いください。
- ② 136 mm 以上の電気カンナ（例：1805B）の場合は、410 のホースを 2.5 m 以下でお使いください。
- ③ 卓上マルノコの場合は、410 のホースを 20 m 以下でお使いください。
- ④ バンドソー（2114C）の場合は、410 のホースを 20 m 以下でお使いください。

- ・ホース（5 m・10 m）

- ・ホースジョイント
（ホース+ホースの接続用）

- ・ノズル+カバー
（ブロワ作業の際にお使いください）

- ・クランプ 90
（ホース固定用）

※使い方は 16 ページを参照願います。

- ・ジョイント 100 アッセンブリ
（他社の木工機のフード 100 φ に接続できます）

- ・フローアノズルアッセンブリ
（床にたまった切りくずなどの
集じんにご使用ください）

別販売品のご紹介

- ・ 各種木材加工用機械から排出される切りくずの集じんにご利用いただくために、下記のフードを用意しております。

※使用できるホースの長さは各モデル 20 m です（モデル 2516、2516N、2516S は除く）。

集じん用フード	適用モデル	集じん用フード	適用モデル
(自動カンナ盤用) (手押カンナ盤用)	2030S 2030SC	(自動カンナ盤用) (手押カンナ盤用)	2030 2031 2032 LM3001
(自動カンナ盤用) (手押カンナ盤用)	2033 2033C		2012 LG120

別販売品のご紹介

集じん用フード	適用モデル	集じん用フード	適用モデル
2708 2711		自動カンナの自動側と手押側の切り替えに
2516 2516N 2516S	Y ジョイント アッセンブリ	
(自動カンナ盤用) (手押カンナ盤用)	2030N 2031N 2030NC 2031NC 2034 2034C	(自動カンナ盤用) (手押カンナ盤用)	2004

※使用できるホースの長さとは、吸込側と排出側の合計のホース長さです。
表示以上のホース長で使用されますと、切りくずが詰まることがありますので必ず表示以下でお使いください。

使い方

1. 集じん作業

作業場の足元にたまった切りくずをダストバッグ内に集じんする場合。

ホースの取り付け

- ・ 吸込口にホースを取り付けてください。
- ・ 付属のホースの金具（片側のみ）の内側についているピンと、本製品の吸込口の溝を合わせて差し込み、時計方向に止まるまで回してください。

注

- ・ 吸込口の近くにあるレバーはサブスイッチです。
- ・ サブスイッチは、吸込口にホースまたはカバーを取り付けると入ります。ホースがはずれたり、ゆるんだりしたときはサブスイッチが切れてモータが止まるようになっています。
- ・ サブスイッチはテープや針金などで固定しないでください。

ダストバッグの取り付け

- ・ 排出口にダストバッグを取り付けてください。
- ・ 付属のダストバッグのジョイントを本製品の排出口にホースと同様の方法で取り付けてください。

注

- ・ ダストバッグ取り付けの際は、ジョイント部近辺がよじれないようにしてください。

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

- ・ 本製品はメインスイッチと、サブスイッチが入ると作動します。
メインスイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。

オーバーカレントリレー（過負荷防止器）

- ・ 本製品はファンなどに異物が詰まって過負荷状態になると、オーバーカレントリレーが作動し、自動的に停止するようになっています。その際にはメインスイッチを切りプラグを電源から抜いて、ホースまたは、ブロー用のカバーをはずし、4本のネジをゆるめ吸込口をはずしてから、ファンなどに詰まった異物を取り除いてください。
再び使用するには、吸込口を取りはずしたときの逆の要領で取り付けてください。次に電源にプラグを差し込み復帰ボタンを押してから、メインスイッチを入れてください。

注

- ・ 停止後 20 秒以上たってから復帰ボタンを押してください。

使い方

使用方法

- ・ メインスイッチを入れて、集じん作業を行ってください。

注

- ・ ホースの吸込口を切りくずの中に埋めて使用することは避けてください。

切りくずの捨て方

- ・ ダストバッグのウインドウより見て、切りくずが約 7 割程度たまった場合、スイッチを切り、ダストバッグを本製品より取りはずします。そしてファスナを開いて切りくずを捨ててください。

注

- ・ ダストバッグが、いっぱいになるまで使わないでください。切りくずが詰まる原因になります。

使い方

2. 搬送作業

作業場内の切りくずなどを屋外に搬送する場合。

- ・ 吸込口と排出口にホースを取り付けてください。

注

- ・ ホースの使用長さは吸込側、排出側合わせて10 m以下でお使いください。10 m以上ですと、切りくずが詰まる原因となります。
- ・ メインスイッチを入れ、搬送作業を行ってください。

使い方

3. ブロワ作業

木材加工用機械にたまったほこりを吹き飛ばす場合。

- ・ 吸込口にブロワ用カバー（別販売）を取り付けてください。

- ・ 排出口にホースを取り付け、ホースの先端にブロワ用ノズル（別販売）を取り付けてください。
- ・ メインスイッチを入れ、ブロワ作業を行ってください。

注

- ・ ブロワ作業を行っているときは、吸込口に何も入らないように注意してください。

4. 木材加工用機械から排出される切りくずの集じん、搬送作業。

「別販売品のご紹介」で示しましたように、マキタ製品に合わせた各種取り付けフードが準備してありますので、用途に合わせて使用してください。

注

- ・ 木材加工用機械から出される切りくずが大きかったり、湿っている場合は、吸い込みが悪くなり、切りくずが詰まることがありますので、このような場合は、木材加工用機械を軽負荷（少ない切り込み）でお使いください。

警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881366K5
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)